

## 5 地域におけるその他の普及活動実績

### 花きの安定生産支援 ～デルフィニウム栽培管理改善～

(課題番号 2)

- ◆活動年次：令和3～5年度
- ◆対象：みついし花き振興会（56戸）

#### 1 課題の背景

- ・花き振興会の販売実績の7割以上を占めるデルフィニウム生産において、近年、生育不良により減収しているほ場があり、消毒直後の作型で病害が発生する事例も見られている。
- ・令和4年には、生育不良は各種要因（右枠）が単独および複合的に発生しており、緑肥の導入や消毒時の土壌水分の確保について呼びかけを行った。

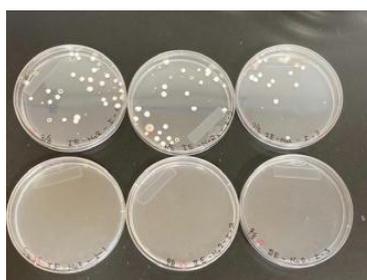
【生育不良要因：病害虫】  
・茎腐萎凋病  
・ネグサレセンチュウ類  
・クロバネキノコバエ類 など  
【生育不良要因：その他】  
・土壌の保水性、排水性の悪化  
・根張り不良 など

#### 2 活動の経過

令和5年は個別巡回による生育不良対策の助言、緑肥導入の呼びかけを行うとともに、消毒直後に茎腐萎凋病が5割以上発生していたほ場（2戸）に対しての原因究明と改善策の提案を中心に活動した。



緑肥導入効果確認



消毒前後のフザリウム菌量測定



消毒後の生育確認

#### 3 活動の成果

病害対策改善戸数(間作緑肥実施戸数)：9戸→17戸(到達度113%)

- 土壌病害発生ほ場の要因解明  
消毒前後の工程を確認し、消毒直後の耕起作業で発病リスクがあったことから、1戸では作業機の洗浄の徹底、1戸では土壌消毒の畝上処理と耕起作業を省略した。その後の肥培管理の徹底もあり、夏～秋採花の作型では2戸とも病害は見られなかった。
- 土壌環境の改善  
前年の緑肥調査結果を基に、関係機関と導入の呼びかけや管理方法の助言を行い、パールミレットなどの間作緑肥の導入が進んだ。
- 花き振興会での情報共有による意識変化  
講習会等で情報共有したことで、土壌消毒直後の工程管理の注意喚起がはかられた。

#### 4 残された問題点

- ・2戸以外の生育不良発生ほ場の原因究明と改善策提案
- ・消毒前後の作業工程の確認

#### 5 今後の対応

- ・効果的な土壌消毒実施に向けた情報の共有化
- ・生育不良要因となる栽培環境改善支援